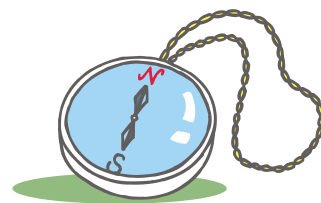


羅 針 盤

第 2 号 令和8年4月13日（月）



◆ 「仲間と共に自ら学ぶ」

「仲間と共に学ぶ」ということ。これは、共に学び続ける仲間がいるからこそ、その存在が成功への大きな原動力となっているということです。つまり、良き友と付き合い、切磋琢磨していくことであり、このことは江戸時代後期の日本の武士であり、思想家、あるいは、教育者としても名高い吉田松陰が、道徳観として捉えていた、人としての生き方を説いた考えが詰まっている『士規七則』という書物に書かれている、「立志・択交・読書」の大切な要素の一つです。仲間の力を借りながら、共に発展を遂げていくためにはどうすればよいのかといったことをどのように考えるべきか。そのためには、まずは、誰もが人に支えられて生きていることに気が付くべきでしょう。幸せな人生を歩んでいくうえで、欠かすことのできない存在、それが、共に学び、高め合い続けられる仲間であることに気づき、誰もが、決して一人では生きていくことはできないということを中心に思えるということがとても大事なことであるはずで、素直な心で、周りの仲間の助けを借りながらも、学びを深めていくことにこそ大きな意味があるはずで、長い時間をかけて学び続けるためにも、共に学ぶ仲間の存在は大きく、だからこそ大切な人にもっと貢献したいと思える気持ちが自然と湧き上がってくるものだと思います。学び続ける原動力となるもの、それが、仲間であり、共に自らも学ぶことに大きな意義があるはずで、また、学び合うこと、それは、協同的な学びとも言えますが、思考力や表現力を培うことにつながり、自らの学力が向上していく方向へと進んでいくものです。つまり、学び合うことは、単に自分の考えを人に伝えるということだけではなく、学習意欲の高まりといったものが必ず伴うものです。グループで話し合うことや、疑問を投げかけ、アイデアを出し合うことで、学びあうことが自分自身のより深い学びへと変わっていきます。仲間に対する気持ち、思いやりといったことの大切さを感じ取りながら、互いに認め合い励まし合える仲間の存在を大事にして、自ら学ぶ力をしっかりと身につけていってほしいと思います。

◆ 「挨拶をする」

生徒の皆さんもよく知っている挨拶の言葉、「こんにちは」は、漢字にすると「今日は」となって、実はこの言葉の後ろには、別の言葉が隠れています。「いい日ですね」や「ご機嫌いかがですか」、「お元気ですか」などが隠れているようで、「今日は、いい日ですね。」となり、相手にとっても自分にとっても、「今日がいい一日になりますように」といった意味が含まれた言葉となります。「こんばんは」も同じく、「今晚は、いい夜ですね。」となるそうです。また、「おはよう」も、漢字では「お早う」と書いて、「朝早くから頑張っていますね」という、自分よりも早くから頑張っている人に、後から来た人が使っていた言葉なのです。これらの言葉が短くなって、今の挨拶になっています。だからこそ、生徒の皆さんも挨拶をする時には、相手にとっても自分にとっても素敵な一日となるように、しっかりと気持ちを込めて、挨拶を交わしてほしいと思います。

